

活躍する 全国の支部員



追手門学院小学校の時に児童劇団に入団して以来、多くの舞台を経験させていただきました。これまでに片岡愛之助さん主演「十月花形歌舞伎GOEMON石川五右衛門」や「システィーナ歌舞伎」にも参加。NHK連続ドラマ「あさが来た」や関西の番組「マルコロリ」「よ〜いドン！」の再現ドラマ、映画「笑顔の向こうに」(第16回モナコ国際映画祭最優秀作品賞受賞)などにも出演させていただきました。

現在東京を中心に活動中ですが、校友会東京支部の活動に楽しく参加させていただいております。同世代の方が多いので、東京や関東にお住まいの方、一緒に東京支部を盛り上げていきましょう。

東京支部 濱田英里(本名 濱田英里子)さん
2015年卒業(46期生) 心理学部 心理学科



子どもの頃魅せられたバンジョーを中学生から習い、大学ではアメリカ民謡研究部に所属。歌う楽しさも知り、ライブやコンサート、TV出演をしてきました。子育てが一段落して音楽活動を再開し、2枚のCDも発表。主婦業の傍ら、バンジョーを弾きながら歌うライブを沢山行なってきました。大学から上海万博・日本産業館JALステージに出演させていただいたり、自宅医院の待合室で無料院内ライブも行なっています。

今も、部活や同期の友人、校友会を通じて会と繋がっていることに、母校への感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、健康で一期一会楽しい音楽活動を長く続けていきたいと思っています。

滋賀支部 北村伊住(旧姓 岸上いづみ)さん
1977年卒業(8期生) 文学部 英米学科
<http://www.iizumi-sweetgrass.com/>



カフェを営んでいた時、イベントとして師匠(主人)とともに始めたことをきっかけに、詩吟を始めました。詩吟の魅力は、言葉や表現の美しさ、そして日本人の心を伝えることがあります。また、声を大きく出すことによって、健康維持や姿勢を正すことなどの良い点も多々あります。令和にちなみ、万葉集より和歌や俳諧歌などを歌います。

今後、学校・保育園などいろいろなところで詩吟の魅力を伝えたいです。

兵庫支部 中野裕子(旧姓 平野裕子)さん
1977年卒業(8期生) 文学部 社会学科
日本詩吟学院 岳風会 所属



現在の私は和歌山市内の食品加工機器メーカーの海外業務部に勤務しております。社会人になりたての頃は、まだ戦後の傷跡の残るベトナムへの出張など慣れない環境で戸惑うことの連続でした。今の海外業務でも新たな課題に取り組む日々の練り返しが、最近では頻繁に届くようになった追手門出身の皆様もそれぞれの社会で頑張っておられるとの便りが、私の励みになっています。学友とは金銭で手に入らない人生の貴重な財産とも言えます。

和歌山支部 ができたおかげで、再び追手門出身の皆様方と交流できるることは誠に嬉しい、感謝の念に堪えません。今後とも大切な学友の絆を継続できますよう宜しくお願い申し上げます。

四国支部 川勝寛子さん
1990年卒業(21期生) 心理学部 心理学科

四国
支部



■発行・編集
追手門学院大学校友会
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20 追手門学院大阪城スクエア
TEL:06-6943-8400 FAX:06-6943-8401
URL:<https://otemon.org> E-mail:koyuka@otemon.ac.jp
2019年9月1日 発行



vol.04

あきらめない心から 広がる世界。

「継続は力なり」を心に、
世界で活躍するチアマン。

「どんでもない学校に来てしまったな…」。これが入学式の日、駐車場に憧れの車や高級車がズラリと並ぶ光景を目にして追大の第一印象だったという井谷さん。そこから始まったキャンパスライフは「とにかく楽しかった」と言います。将軍山祭では実行委員として盛りあがけたり、漕艇部では4年間全力投球したり。日々の厳しいトレーニングにも耐えて実力をつけ、瀬田川のレガッタで2位に入賞するなどの実績も残しました。

このメダル獲得をとても喜んでくれたという井谷さんのお父さまは、業務用の音響機器と映像機器の専門メーカーTOA株式会社(旧社名 東亞特殊電機株式会社)の創業メンバー。井谷さんは大学卒業後お父さまから声をかけられ、このTOAへ入社しました。

「文系だったので電気や設備のことが分からず、入社後はとにかく勉強でした。技術職の人からマンツーマンで理論を学び、初めての配属先では、倉庫で器材の出荷を手伝いながら商品知識を学ぶ日々。初の営業担当地域ではエリアの隅々まで自分の足で廻り、土地勘を養っていました。地区の有線放送や防災行政無線など、拡声放送機器の仕事をしていたので、国道沿いに公共施設を見つけると、何か仕事の種があるかもしれない全部訪ねました。エリアマーケティングですね。こういう勉強や地道な動きをしたからこそ分かったこと、今にも活きています」

中でも一番印象に残っている仕事というのが、警視庁の一大プロジェクト。東京へ異動後、中央官庁の担当をしていた井谷さんは「毎日警視庁へ営業に通ったんです。そのおかげで2年くらい経ったある日、『警視庁のパトカー車両を大幅に入れ替えるから、搭載するスピーカー一類一式の提案をしてほしい』と言われて」。それからアイデアを練って提案し、競合相手を抑えて見事この案件を獲得。努力を重ねて大きな仕事を勝ち取った瞬間のことを「本当に嬉しくて、思わず拳をあげて『やったー!』と飛び上がりました」と回想。

「この警視庁の仕事ができたのも、間違なく追大の漕艇部で養った根性があったからこそ。自分で考えて始めたことは最後まであきらめない、責任を持ってやりとげるという学生時代に培ったマインドが役に立ちました」

今や世界130ヵ国以上の国や地域で商品を製造・販売し、グローバル企業として活躍するTOA。企業のトップとしてプレることなく進む方向を明確に示し、社員が働くよりよい環境づくりにも注力する井谷さん。国内外から注目を集めているTOAとともに、井谷さんの熱い想いとあきらめない気持ちは、今後さらに社会へたくさんの笑い声を響かせていくことでしょう。

井谷 憲次 さん
Kenji Itani
1975年卒業(6期生)
経済学部 経済学科
TOA株式会社 取締役会長
<http://www.toa.co.jp>

交遊誌・ホームページ掲載希望者募集中(掲載対象) 国内外を問わず、追大卒業生、校友会員であること (ジャンル) ○グルメ(飲食・お菓子)○旅行(ホテル・旅館・旅行代理店)○住まい(不動産・住宅・相談)○医療・福祉・介護・保険○学校・予備校・塾・カルチャースクール○美容院・エステサロン○卸・製造など (掲載料) 無料 (ご注意) 内容などにより校友会の承認が得られない場合、掲載いたしかねる場合もあります。予めご了承ください。また、届け出の連絡が取れない場合(例えば電話が通じないなど)、閉店などが認められた場合には掲載を中止させていただきます。(掲載申し込み) 校友会ホームページからの申し込みに限りますので、ご理解とご協力をよろしいです。

登録募集中!! 「誰どこ何してるシステム」

<https://otemon.org/daredoko/>

「誰どこ何してるシステム」とは、追手門学院大学校友会が運営する会員やお店を幅広く紹介しているサイトです。ご近所の校友やお店や会社なども見つけていただけます。追手門学院大学の校友だけへの特典が付くという嬉しい情報もあります。皆様、どうぞご登録をお願いします。



編集後記

LinkA創刊4号の発刊にあたり、今回も多忙なスケジュールの中、取材にご協力いただきました5名の方々に心よりの感謝を申し上げます。取材に立ち会わせていただき、大学時代に経験されたことを糧に、「あきらめない」心と情熱を持って歩み続け、今を輝かしく生きておられる姿を感じ取ることができました。誌面にて紹介させてもらった方々と多くの卒業生とが交流を図って繋がり、お互いの資質を高め、「追手門学院大学」ブランドの向上に努めなければと思われます。11月21日には活躍する卒業生交流の場として「第3回LinkAのつどい」を西上通天閣観光社長の協力のもと、通天閣にて開催します。詳細は会報・HPにて掲載しています。皆様方のご参加を心よりお待ちしています。

(広報委員会 官浪伸次)

